

第二回 立川文学賞

募集要項

一 趣旨

日本語で書かれた未発表小説を募集します。テーマ・ジャンルは不問ですが「新しい文学の息吹」を感じさせる作品を歓迎します。

趣旨説明

本賞は、平成二十二年に立川市民を中心に有志が集い創設されました。

立川市は、地理的には東京都のほぼ中央に位置します。都の大動脈の中央線、奥多摩へ延びる青梅線、京浜へとつなぐ南武線そして南北をつなぐ多摩都市モノレールによって、鉄道交通の分岐点として新宿以西都内では最大の乗降客を数えます。地域外からの住民の流入、駅前開発を含む商業都市としての発展と相まって、一部地区の遊興街化などまさに国内の都市の典型ともいえる様相を見せています。この街が商圏として肥大化を続ける中で、最大の問題は、未だに確たる都市のイメージを持ち得ていないことです。

昭和三十八年の合併によって、現在の立川市になる前からの、旧柴崎村地区、旧砂川村地区には、それぞれに古くから伝わる良き伝統文化、寺社などが残されていますが、新住民の多い現在、残念ながら市民共通の文化たり得ていません。一方では、かつて立川は基地の町といわれていました。その基地は、戦前は世界一周の飛行機の離発着地として知られ、また戦後の米軍基地の時代には、ジャズ音楽の国内への流行、コカコーラやアイスクリームなど豊かな欧米文化の発信場所でもありました。昭和五十二年に日本に返還された以後、今では国営昭和記念公園、自衛隊防災基地、民間利用地などにそれぞれ三分割され、特に昭和記念公園は、平和の象徴の如く、市内外から来る多くの家族の憩いの場として利用されています。しかし、それは国策によるまちづくりの結果に過ぎないという人もいます。

今の時代に、市民が自らまちの文化を作れるのか、作るには何を為せばよいのか。今回、立川文学賞を通じて求めるものは、文学がまち・地域の在りようや、そこに住む生活者に影響を与えうるのか、また逆に、まち・地域の在りようや生活者の人生の中から、文学の種となるものを、作者がいかにして見出すかを知ることです。ただし、本賞には立川という地名がついていますが、作品が立川市を舞台にしていなくても審査には一切関係ありません。あなたの感性と知性、まちやそこに住む生活者の見つめ方によって、新しい文学の息吹を感じさせる小説が誕生することを期待いたします。

二 原稿枚数

四百字詰め原稿用紙に換算して六十〜百二十枚

三 応募規格

- ① 四十字×四十行で作成し、A4横版に縦書きとしページをふる
- ② 表紙をつけて綴じる（右側綴じとする）
- ③ 表紙には、小説のタイトル、住所、氏名（ペンネームの場合は本名も併記）、年齢、職業、電話番号、メールアドレス（所有者のみ）、四百字詰め原稿用紙に換算した枚数を記入する、
- ④ 表紙の次、二枚目に六百字程度のあらすじを記入したものを綴じこむ
- ⑤ 手書きは不可
- ⑥ 以上を2部提出（必須）

四 応募資格

年齢、国籍、住所、性別、職業に制限なし

五 作品提出期間

平成二十三年十一月三十日（郵送による。但し当日消印有効とします）

六 賞金

大賞五十万円、佳作五万円×数点、

七 副賞

大賞、佳作受賞作から選択して、本にして出版いたします。ただし、受賞作品の出版権、雑誌掲載権、二次利用権（映像化、コミック化、ゲーム化など）は立川文学賞実行委員会に帰属するものとします

八 選考方法

立川文学賞選考委員による

九 選考委員

選考委員長 志茂田景樹（直木賞作家）

十 発表

平成二十四年 三月十五日〜三月三十日までの間

十一 発表方法

本人に通知する他、新聞記者発表などを予定

十二 表彰式

平成二十四年三月下旬に立川市役所内にて行う

十三 注意事項

- ① 作品は返還いたしませんので、お手元にコピーで保管して下さい
- ② 本文学賞のために書かれた原稿に限ります
- ③ 二重応募は失格とし、web上で発表された作品も不可とします
- ④ 審査についての問い合わせは応じません

十四 応募・作品送付先

東京立川こぶしロータリークラブ事務局内 「立川文学賞実行委員会」宛
〒一九〇〇〇〇二二 東京都立川市曙町二丁目十番十号 緑川ビル三階
電話 〇四二〇五二七〇五二四 ファックス 〇四二〇五二二〇五二四
東京立川こぶしロータリークラブ ホームページ <http://kobushi-rc.jp>
メールアドレス kobushi@m-net.ne.jp

十五 実施主体

主催・・・立川文学賞実行委員会

共催(予定)・・・特定非営利活動法人立川教育振興会・東京立川こぶしロータリーク
ラブ・社団法人立川青年会議所・多摩信用金庫

後援(予定)・・・立川市・立川商工会議所・立川観光協会・社団法人立川法人会
国営昭和記念公園・昭和天皇記念館・立川市教育委員会
社団法人東京都宅地建物取引業協会立川支部
大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立国語研究所
立川市文化協会・立川市商店街振興組合連合会(順不同)

表紙 (書式)

小説のタイトル

住所

氏名 (ペンネームの場合カッコ書きで本名も)

年齢

職業

電話番号

メールアドレス (所有者のみ)

四〇〇字換算枚数

表紙の次頁（四十字×四十行原稿に縦書き）

あらすじ（六〇〇字程度）